

I 目的

近世の日朝関係及び「竹島問題」に関わる研究の発展・向上に資するため、鳥取県立博物館所蔵の元禄5～9（1692～96）年を中心とする、竹島（鬱陵島）・松島（竹島/独島）関係資料の画像と翻刻文を収録した資料集を作成する。資料集は、別添のCD-ROMに収録し、本稿では収録資料の解題および注目される資料について解説した。

II 解題

鳥取県立博物館所蔵資料のなかで、元禄期の竹島・松島関係記事は「鳥取藩政資料」及び「岡嶋家資料（岡嶋文庫）」に含まれている。次に、両資料群について紹介する。

(1) 鳥取藩政資料

旧鳥取藩主池田家に伝来し、昭和44（1969）年8月に子孫である池田徳真氏から鳥取県へ寄贈された資料群。昭和47（1972）年10月、鳥取県立図書館より鳥取県立博物館へ移管された。

寛永9（1632）年から明治初年（1875頃）まで、約240年にわたって作成された公文書類約15,000点が現存し、各部署の公務日記が残る。また、明治末から大正にかけて行われた『鳥取藩史』編さん関係資料も含まれている。目録として『鳥取藩政資料目録』（鳥取県立博物館、1997）がある。なお、従来の竹島・松島研究では、同一史料を指して複数の異なる名称で呼ばれており、混乱を招く可能性があったが、ここでは『藩政資料目録』で用いられる呼称に統一した。

① 「控帳」

国元の家老のもとで記録された日記。「御櫓日記」とも呼ばれる。鳥取藩を研究する上で最も基本となる史料。承応4～明治6（1655～1873）年までの日記が残る。そのうち、寛文6、7（1666、67）年、元禄5～9（1692～96）年の画像とその翻刻文を収録。

② 「御用人日記」

藩主の側近である御用人のもとで記録された日記。「御祐筆日記」、「日記下書」とも呼ばれる。藩主の在所により、「在国（＝鳥取）」・「道中」・「在府（＝江戸）」の3種が書き継がれた。『鳥取藩史』等では、「御在国日記」、「御在府日記」と称される。

寛文10～安永8（1670～1779）年までの記録が残る。そのうち、今回は元禄5～9（1692～96）年までの画像とその翻刻文を収録した。

③ 「御用人日記写」

「御用人日記写」は、在国・在府で分割される「御用人日記」を1年1冊として写し直したものであり、内容は「御用人日記」と重複する。原題は「御在国御在府日記」。寛文13～天明7（1673～1787）年までの記録が残存している。

本CD-ROMには、「御用人日記」が散逸している元禄5（1692）年分の画像とその翻刻文を収録した。

④ 「竹嶋之書附」

享保9（1724）年閏4月、鳥取藩が江戸幕府に提出した竹島渡海関係資料。元来、別々の一枚物であった史料を県立図書館時代に1冊に綴じ直された。また、藩史編さん時のものと考えられる付箋が付い

ている。

内容は、元禄5（1692）年に米子町人村川市兵衛の船が朝鮮人にはじめて遭遇した時の記録から元禄6～9（1693～96）年までの、いわゆる「竹島一件」関係資料を中心に、享保7、9（1722、24）年、幕府が鳥取藩に対して行った竹島渡海に関する問い合わせとその回答書を取める。また、末尾に竹島略図を付す。全文を収録。全文を翻刻したものとして、塚本孝「竹島関係旧鳥取藩文書および絵図（上・下）」（『レファレンス』35〈4、5〉、1985年4、5月）がある。

⑤「竹嶋之図」

「竹嶋之図」と表書きされる袋に一括された竹島絵図。ただし、収納袋は県立図書館時代に作成されたものと考えられる。全4点。CD-ROMには全絵図を収録。

享保9（1724）年に幕府へ提出した絵図の写し1点、提出絵図の下絵と考えられる3点が含まれる。本図については、前掲、塚本「竹島関係旧鳥取藩文書および絵図（下）」が詳しい。

⑥「小谷伊兵衛より差出候竹嶋之絵図」

幕府の竹島渡海に関する問い合わせに対し提出したと考えられる竹島絵図。小谷伊兵衛は、幕府との渉外を担当した間役（江戸留守居）を勤めた人物。作成年代は、幕府より竹島渡海に関する問い合わせが行われた、元禄9（1696）年ごろのものと推測される。

⑦「因幡志」

鳥取藩医安部恭庵（1734～1808）著。寛政7（1795）年成立。因幡地方の地誌で、47巻39冊からなる。CD-ROMには、鳥取藩政資料内の写本から、「筆記之部三」の竹島関係部分の画像と翻刻文を収録した。活字本に『因伯叢書3』（名著出版、1972）がある。

⑧「伯耆志」

景山肅（立碩）ほか編集。明治初年ごろ成立。伯耆国の官撰地誌。文久元（1861）年、藩命により編集事業に取りかかり、明治初年に完成したとされるが、現在、会見・日野郡以外は散逸している。CD-ROMには、鳥取藩政資料の写本から「会見郡八」の村川氏と大谷氏に関連する部分の画像と翻刻文を収録した。活字本に『因伯叢書4』（名著出版、1972）がある。

⑨「伯耆民諺記」

鳥取藩士（倉吉詰組士）松岡布政著。寛保2（1742）年成立。伯耆国、特に久米・河村・八橋郡の東三郡を中心とした地誌。収録した史料は、藩史編さん事業のなかで筆写されたもの（原本は「佐々木亮所有」とある）。CD-ROMには、該当部分の画像と翻刻文を取めた。

⑩「伯耆民談記」

鳥取藩士（倉吉詰組士）松岡布政著か。寛保2（1742）以降。収録史料は、藩史編纂事業のなかで筆写されたもの。「伯耆民諺記」完成後、これに補正を加えて成立したものと考えられる。後述する岡島正義「竹島考」によると、竹島渡海について論じるとき、必ず参考にされた書であったという。CD-ROMには「大谷・村川竹嶋渡海之事」を収録した。活字本に『因伯文庫3』（日本海新聞社、1960）、『因伯叢書3』（名著出版、1972）がある。

(2)岡嶋家資料（岡嶋文庫）

天正17年から明治40（1589～1907）年まで、約320年にわたる鳥取藩士岡嶋家9代の資料群。7代正義（1784～1859）は考証史家として著名で、「竹島考」や「因府年表」、「鳥府志（鳥取城下の地誌）」など、数多くの著作を残している。目録として、『資料調査報告書第2集岡嶋家資料』（鳥取県立博物館、1974）がある。

①「竹島考」

岡嶋正義著。文政11（1828）年成立。資料名にある「竹島」とは、現在の鬱陵島を指す。竹島渡海から禁止に至る経緯、竹島の地理や産物などを記す。上・下2巻からなり、CD-ROMには全巻を収めた（翻刻文なし）。全国に写本が存在するが、収録したのは岡嶋の自筆稿本。本書については、池内敏「『竹島考』について」（同『大君外交と「武威」』名古屋大学出版会、2006に所収）に詳しい。

②「因府年表」

岡嶋正義著。天保13（1842）年ごろ成立。諸家に残る諸記録や聞書をもとに、鳥取藩初代藩主池田光仲誕生の寛永7（1630）年から延享4（1747）年までの鳥取藩の歴史を編年体で記したもの。『鳥取県史7』近世資料（鳥取県、1976）に全文が翻刻されている。CD-ROMには、元禄5～9（1692～96）年までの竹島関係部分の画像と翻刻文を収録した。

③「因府歴年大雑集」

岡嶋正義著。全15巻。成立年不詳だが、寛永9（1632）年から嘉永7（1854）年までの記録が収録されている。「因府年表」などの著述の過程で成立したと考えられている。内容は、年次ごとに珍事や異事など雑多な記事が収められている。CD-ROMには、元禄5～9（1692～96）年までの竹島関係部分の画像と翻刻文を収録した。

④「増補珎事録」

鳥取藩士野間宗蔵著。岡嶋正義増補。全3巻。本書は、野間が寛永8（1631）年から享保16（1731）年の記録をまとめた「珎事録」に、野間の子孫と岡嶋正義が文政（1818～30）年間までの記事を増補したもの。「因府年表」や「因府歴年大雑集」のもとになったと考えられる書のひとつ。元禄5～9（1692～96）年までの竹島関係部分を収録した。

⑤「隠州視聴合紀（記）」

出雲藩士斎藤豊宣著。寛文7（1667）年成立。隠岐島の歴史や地理などをまとめたもの。全国に数多く写本が存在するが、CD-ROMに収録したものは、明治元（1868）年、岡嶋家8代正脩が鳥取藩領に合併された隠岐島の取締りのため、同地を訪れた際に筆写したと考えられる書。全文を収録した（翻刻文なし）。本書については、池内敏「『隠州視聴合記（紀）』の解釈をめぐって」（同『大君外交と「武威」』所収）に詳しい。

⑥「竹島渡海由来記抜書」

大谷九右衛門勝広著。明治元（1868）年2月成立。大谷家の由緒と竹島渡海の由来に関わる記録。岡嶋家8代正脩が、明治元（1868）年以降、筆写したと考えられる書。CD-ROMには全文の画像と翻刻文を収録した。

大谷家に伝わる資料のなかにも、同タイトルの「竹島渡海由来記抜書控」があり（大谷文子『大谷家古文書』1984）、成立年代は解説により「11代（実際は10代）勝意が、文政の頃書き写したものと考えられる」とされている。しかし、今回CD-ROMに収録した「竹島渡海由来記抜書」は、元治元（1864）年12月8日に長州戦争のため米子に出陣中の鳥取藩主池田慶徳へ甘鯛を献上したこと、翌2年の元日に若魚・鱒を献上したことなどが記されているなど、幕末期の記録が載せられている。さらに、作成年・作成者として「巳二月 大谷九之右衛門」と記載されており、元治2（慶応元）年以降の巳年、すなわち明治元（1868）年に、11代九右衛門勝広によって作られたものであることがわかる。ただし、大谷家に残されたものとは内容が若干違うため（寛保元年6月10日付の長崎奉行所宛大谷九右衛門書状以下の文章）、現存する他書と比較が必要である。

※付録として鳥取藩政資料と岡嶋家資料の内、一部の資料について内容細目を P49～57に掲載した。

「内容細目」および CD-ROM 収録内容一覧

資料名	画像	翻刻	内容細目
控帳	○	○	○
御用人日記	○	○	○
御用人日記写	○	○	○
竹嶋之書付	○	○	○
竹嶋之函	○	—	—
小谷伊兵衛より差出候 竹嶋之絵函	○	—	—
因幡志	○	○	×
伯耆志	○	○	○
伯耆民諺記	○	○	○
伯耆民談記	○	○	○

資料名	画像	翻刻	内容細目
竹島考	○	×	○
因府年表	○	○	○
因府歴年大雑集	○	○	○
増補珎事録	○	○	○
隠州視聴合紀	○	×	×
竹島渡海由来記抜書	○	○	○